

平成 23 年 3 月 30 日

各 位

株式会社 T & D ホールディングス
代表取締役社長 宮戸 直輝
(コード番号: 8795 東証・大証第一部)

T & D フィナンシャル生命保険株式会社
代表取締役社長 竹内 致夫

決算短信および決算開示資料の一部訂正について

過去に公表いたしました決算短信および決算開示資料における平成18年3月期第1四半期から平成23年3月期第3四半期までのT & D フィナンシャル生命保険株式会社の「ソルベンシー・マージン比率」について、誤りがあることが判明いたしましたので、訂正いたします。

誤りの原因は、変額個人保険に係る最低保証リスク相当額の算出方法の誤りであり、今後は事務の見直しを図り、再発防止を徹底してまいります。関係各位にご迷惑をお掛けしますことをお詫び申し上げます。

以 上

【お問い合わせ先】

株式会社 T & D ホールディングス 広報部 松尾 TEL 03-3434-9181
T & D フィナンシャル生命保険株式会社 広報課 進藤 TEL 03-3434-8840

1. 訂正内容

T&Dフィナンシャル生命

期別	ソルベンシー・マージン比率		
	訂正前 (a)	訂正後 (b)	差異 (b) - (a)
平成 18 年 3 月期第 1 四半期	585.5%	594.9%	+9.4%
平成 18 年 3 月期第 2 四半期	1,070.3%	1,090.3%	+20.0%
平成 18 年 3 月期第 3 四半期	1,066.7%	1,086.1%	+19.4%
平成 18 年 3 月期	1,911.8%	1,947.7%	+35.9%
平成 19 年 3 月期第 1 四半期	1,646.6%	1,674.5%	+27.9%
平成 19 年 3 月期第 2 四半期	1,559.0%	1,583.9%	+24.9%
平成 19 年 3 月期第 3 四半期	1,420.3%	1,440.5%	+20.2%
平成 19 年 3 月期	1,189.7%	1,203.7%	+14.0%
平成 20 年 3 月期第 1 四半期	1,136.9%	1,149.4%	+12.5%
平成 20 年 3 月期第 2 四半期	1,080.5%	1,091.7%	+11.2%
平成 20 年 3 月期第 3 四半期	1,024.1%	1,034.2%	+10.1%
平成 20 年 3 月期	912.4%	920.7%	+8.3%
平成 21 年 3 月期第 1 四半期	891.2%	899.2%	+8.0%
平成 21 年 3 月期第 2 四半期	656.2%	661.0%	+4.8%
平成 21 年 3 月期第 3 四半期	963.3%	969.5%	+6.2%
平成 21 年 3 月期	832.0%	836.8%	+4.8%
平成 22 年 3 月期第 1 四半期	823.6%	828.0%	+4.4%
平成 22 年 3 月期第 2 四半期	760.9%	764.6%	+3.7%
平成 22 年 3 月期第 3 四半期	711.3%	714.4%	+3.1%
平成 22 年 3 月期	643.4%	646.0%	+2.6%
平成 23 年 3 月期第 1 四半期	632.2%	634.8%	+2.6%
平成 23 年 3 月期第 2 四半期	627.2%	629.6%	+2.4%
平成 23 年 3 月期第 3 四半期	626.0%	628.5%	+2.5%

2. 平成23年3月期第3四半期の決算短信および決算開示資料の訂正箇所

直近の平成23年2月10日に公表いたしました平成23年3月期第3四半期の決算短信および決算開示資料の訂正は以下のとおりとなります（訂正箇所には下線を表示しております）。

- (1) 「平成23年3月期 第3四半期決算短信」…P 5 1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報 (3) 生命保険会社3社(単体)に関する事項 ②財政状態に関する定性的情報

訂正前	訂正後
<p>■ T&Dフィナンシャル生命保険株式会社 (省略)</p> <p>ソルベンシー・マージン比率は <u>626.0%</u> (前事業年度末は <u>643.4%</u>) となりました。また、実質純資産は956億円 (同905億円) となりました。</p>	<p>■ T&Dフィナンシャル生命保険株式会社 (省略)</p> <p>ソルベンシー・マージン比率は<u>628.5%</u> (前事業年度末は<u>646.0%</u>) となりました。また、実質純資産は956億円 (同905億円) となりました。</p>

- (2) 「平成23年3月期第3四半期決算のお知らせ(T&D保険グループ分)」…P 3 [その他の指標等]

【訂正前】

(単位：億円)

	3社合算		太陽生命		大同生命		T&Dフィナンシャル生命	
	当第3四半期末	前年度末比較増減	当第3四半期末	前年度末比較増減	当第3四半期末	前年度末比較増減	当第3四半期末	前年度末比較増減
ソルベンシー・マージン比率			1,237.6%	213.8ポイント上昇	1,182.9%	62.3ポイント上昇	<u>626.0%</u>	17.4ポイント低下
実質純資産	12,383	1,035増	5,229	891増	6,196	91増	956	51増
有価証券差損益(一般勘定)	3,077	788増	1,995	748増	998	12減	82	51増
うち公社債	1,885	1,081増	1,140	746増	663	283増	81	51増
うち株式	1,303	185減	903	24減	399	160減	—	—
うち外国証券	△120	5減	△110	18減	△10	13増	—	—
うちその他の証券	△109	203減	3	0増	△113	203減	0	0減
うち金銭の信託	△4	7減	—	—	△4	7減	—	—
うち買入金銭債権	122	108増	58	45増	63	62増	—	—
土地等の差損益	291	3増	87	1増	204	1増	—	—

- (注) 1. 有価証券差損益については、有価証券のうち時価のあるものを記載しております。
 2. 土地等の差損益については、原則として鑑定評価額(重要性の低い物件等については公示価格等)をもとに算出しております。
 3. E E V計算上の修正純資産は、グループが9,274億円(前年度末比927億円増)、太陽生命が4,254億円(同699億円増)、大同生命が4,382億円(同187億円増)、T&Dフィナンシャル生命が637億円(同40億円増)です。

【訂正後】

(単位：億円)

	3社合算		太陽生命		大同生命		T&Dフィナンシャル生命	
	当第3四半期末	前年度末比較増減	当第3四半期末	前年度末比較増減	当第3四半期末	前年度末比較増減	当第3四半期末	前年度末比較増減
ソルベンシー・マージン比率			1,237.6%	213.8ポイント上昇	1,182.9%	62.3ポイント上昇	<u>628.5%</u>	17.5ポイント低下
実質純資産	12,383	1,035増	5,229	891増	6,196	91増	956	51増
有価証券差損益(一般勘定)	3,077	788増	1,995	748増	998	12減	82	51増
うち公社債	1,885	1,081増	1,140	746増	663	283増	81	51増
うち株式	1,303	185減	903	24減	399	160減	—	—
うち外国証券	△120	5減	△110	18減	△10	13増	—	—
うちその他の証券	△109	203減	3	0増	△113	203減	0	0減
うち金銭の信託	△4	7減	—	—	△4	7減	—	—
うち買入金銭債権	122	108増	58	45増	63	62増	—	—
土地等の差損益	291	3増	87	1増	204	1増	—	—

- (注) 1. 有価証券差損益については、有価証券のうち時価のあるものを記載しております。
 2. 土地等の差損益については、原則として鑑定評価額(重要性の低い物件等については公示価格等)をもとに算出しております。
 3. E E V計算上の修正純資産は、グループが9,274億円(前年度末比927億円増)、太陽生命が4,254億円(同699億円増)、大同生命が4,382億円(同187億円増)、T&Dフィナンシャル生命が637億円(同40億円増)です。

(3) 「平成23年3月期第3四半期決算のお知らせ(T&Dフィナンシャル生命分)」…P17 7. ソルベンシー・
マージン比率

【訂正前】

(単位：百万円)

項目	当第3四半期会計期間末 (平成22年12月31日)	前事業年度末 (平成22年3月31日)
ソルベンシー・マージン総額 (A)	96,068	99,627
資本金等	34,711	37,934
価格変動準備金	407	387
危険準備金	32,100	26,822
一般貸倒引当金	3	3
その他有価証券の評価差額×90% (マイナスの場合100%)	△ 312	△ 522
土地の含み損益×85% (マイナスの場合100%)	—	—
全期チルメル式責任準備金相当額超過額	29,157	35,001
負債性資本調達手段等	—	—
控除項目	—	—
その他	—	—
リスクの合計額 $\sqrt{(R_1+R_8)^2+(R_2+R_3+R_7)^2} + R_4$ (B)	30,689	30,964
保険リスク相当額 R_1	959	998
第三分野保険の保険リスク相当額 R_8	292	306
予定利率リスク相当額 R_2	486	335
資産運用リスク相当額 R_3	2,189	1,687
経営管理リスク相当額 R_4	929	939
最低保証リスク相当額 R_7	27,057	27,973
ソルベンシー・マージン比率 $\frac{(A)}{(1/2) \times (B)} \times 100$	626.0%	643.4%

- (注) 1. 前事業年度末は、保険業法施行規則第86条、第87条及び平成8年大蔵省告示第50号の規定に基づいて算出しております。当第3四半期会計期間末は、これらの規定に準じて、当社が合理的と判断する方法で算出しております。
2. 資本金等は、(四半期)貸借対照表の純資産の部合計から、その他有価証券評価差額金を除いた額を記載しております。
3. 最低保証リスク相当額 R_7 は、標準的方式を用いて算出しております。

【訂正後】

(単位：百万円)

項目	当第3四半期会計期間末 (平成22年12月31日)	前事業年度末 (平成22年3月31日)
ソルベンシー・マージン総額 (A)	96,068	99,627
資本金等	34,711	37,934
価格変動準備金	407	387
危険準備金	32,100	26,822
一般貸倒引当金	3	3
その他有価証券の評価差額×90% (マイナスの場合100%)	△ 312	△ 522
土地の含み損益×85% (マイナスの場合100%)	—	—
全期チルメル式責任準備金相当額超過額	29,157	35,001
負債性資本調達手段等	—	—
控除項目	—	—
その他	—	—
リスクの合計額 $\sqrt{(R_1+R_8)^2+(R_2+R_3+R_7)^2} + R_4$ (B)	30,568	30,840
保険リスク相当額 R_1	959	998
第三分野保険の保険リスク相当額 R_8	292	306
予定利率リスク相当額 R_2	486	335
資産運用リスク相当額 R_3	2,189	1,687
経営管理リスク相当額 R_4	926	935
最低保証リスク相当額 R_7	26,939	27,852
ソルベンシー・マージン比率 $\frac{(A)}{(1/2) \times (B)} \times 100$	628.5%	646.0%

- (注) 1. 前事業年度末は、保険業法施行規則第86条、第87条及び平成8年大蔵省告示第50号の規定に基づいて算出しております。当第3四半期会計期間末は、これらの規定に準じて、当社が合理的と判断する方法で算出しております。
2. 資本金等は、(四半期)貸借対照表の純資産の部合計から、その他有価証券評価差額金を除いた額を記載しております。
3. 最低保証リスク相当額 R_7 は、標準的方式を用いて算出しております。